



ロボット戦略 世界分散ファンド

愛称:資産の番人

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号：今村証券株式会社
金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号
加入協会：日本証券業協会

■設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

商号：T&Dアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。記載のデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。ご覧いただくにあたっては、最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

人工知能(AI)の開発

ビッグデータの解析と活用

ロボットはすでに身近な存在に

今後も科学技術の飛躍的な進化は続くでしょう。

金融サービスの世界もデータが膨大になるとともに、より迅速に処理できる高度化の波が加速しています。
資産運用の分野もコンピュータプログラムの性能の進化が進み、新たな展開をもたらすでしょう。

ファンドは約30年の一貫したコンピューター運用の実績を持つ
数学博士、物理学博士を含む金融工学研究者集団
英国 マン・グループのAHLが実質的に運用を行います。

ファンドでは24時間、コンピューターが取引を執行し、リスク管理を行います。

あなたの資産運用に伝統と革新を

お客様の資産を
24時間眠らず
見守ります。



資産の番人コンピューター「マモル」
(ファンドのイメージキャラクターです。)

ファンドの特色、ファンドの仕組み

1 主として円建の外国投資信託証券であるマン・アンブレラ・SICAV-マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス(ヘッジ付)(以下「外国投資信託」といことがあります。)への投資を通じて、先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を活用し、幅広い資産に投資を行います。

2 外国投資信託の運用は、1987年の創業以来、一貫したコンピューター運用の実績を持つ英国のAHL パートナース LLP(以下「AHL」といことがあります。)が行います。AHLが世界最先端の金融技術の研究・開発により生み出した独自の定量モデルが、投資判断を行います。

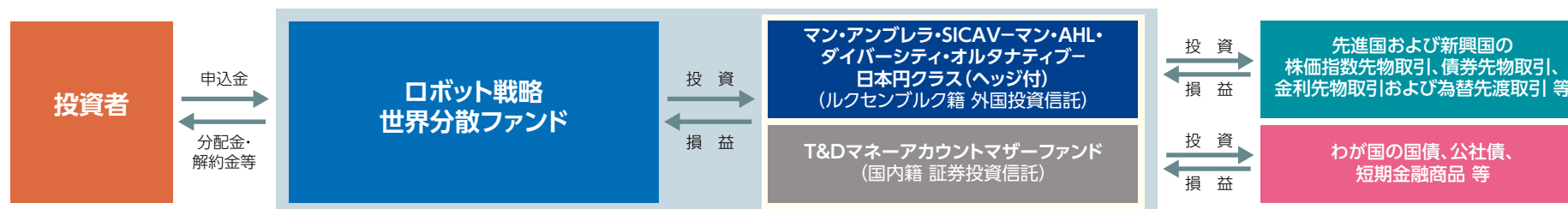
- 主として市場動向の方向性にそって多数の先物等について「買い建て(ロング)ポジション」または「売り建て(ショート)ポジション」を構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。('買い建て'、'売り建て'について詳しくは、3~4ページをご覧ください。)
- 先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面において収益を追求します。特定の市場の動向に左右されにくい収益の追求を目指すことを絶対収益追求といいますが、必ず収益を得られることを意味するものではありません。
- 原則として、コモディティ市場への投資は行いません。

3 外国投資信託においては、原則として当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減を図ります。

- 外国投資信託の実質的な通貨配分における各通貨と米ドルの間に発生する為替変動の影響を受けることがあります。

◆ファンドは、以下の投資信託に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。

外国投資信託の組入比率は、原則として高位を保ちます。



マン・グループ(本社:英国 ロンドン)は、5つの運用会社を傘下にもつ、世界最大級のオルタナティブ投資を中心とする先進的資産運用会社です。AHLはクオンツ・マルチアセット運用を提供する運用会社です。AHLについて詳しくは、11ページをご覧ください。

- *オルタナティブとは株式や債券などの伝統的な資産とは異なる資産のこと
- *クオンツとは金融工学等の知識を駆使し数学的手法を用いて分析を行うこと

マン・グループ
Man

Man AHL

Man numeric investors

Man GLG

Man FRM

Man GLOBAL PRIVATE MARKETS

コンピュータプログラム(ロボット戦略)による投資判断

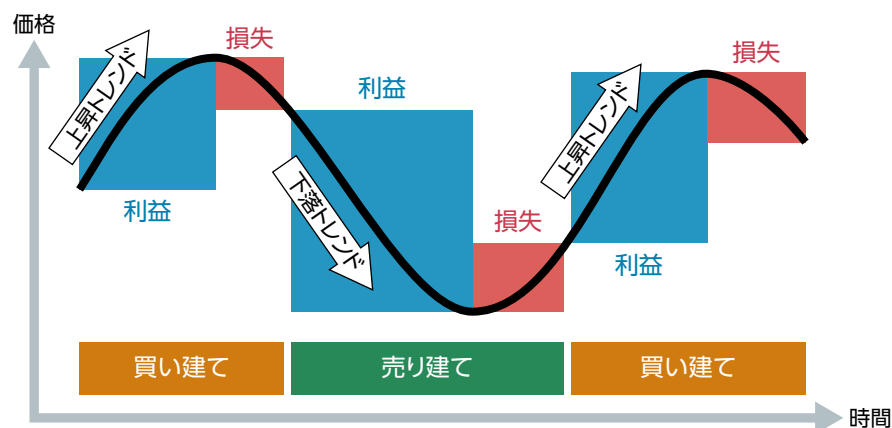
24時間市場を
監視するよ!



- 投資判断はコンピューターが行います。コンピュータプログラム(ロボット戦略)が**すべての投資対象市場の「上昇トレンド」や「下落トレンド」**を判断し、原則としてそれに**追従する取引を執行**します。(トレンドとは市場の方向性のことです。)
- 投資対象は**世界の100以上の市場**で、24時間、休むことなくコンピューターが運用を行います。
- 価格の上昇局面だけでなく、下落局面においても収益機会の獲得を目指します。

取引のイメージ

「**上昇トレンド**」と判断した場合は「**買い建て(ロング)ポジション**」、**「下落トレンド」**と判断した場合は「**売り建て(ショート)ポジション**」を構築し、トレンドが反転した場合は速やかにポジションを解消します。ファンドは原則として、先物取引での買い建て、売り建てによる利益の獲得を目指します。(先物取引の買い建て、売り建てについて詳しくは4ページをご参照ください。)

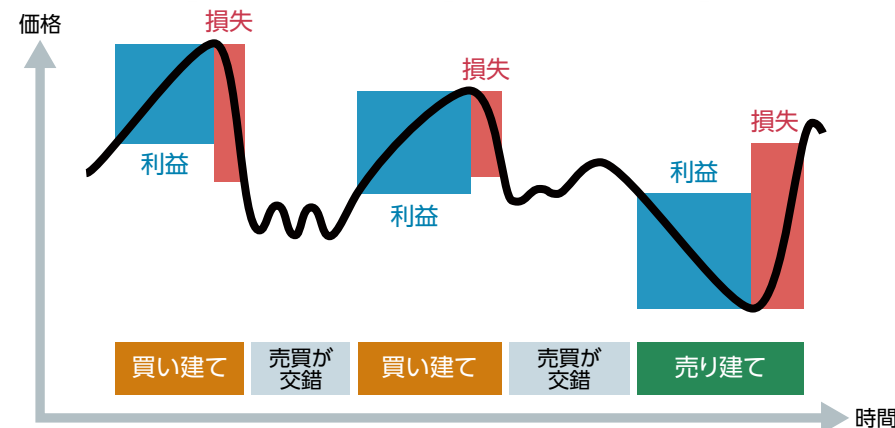


幅広い投資対象市場に
同時に投資判断を
行うことができるよ!



強み

- トレンドが明確で急な反転がない局面において、上昇と下落の両局面から利益を獲得することを目指します。



弱み

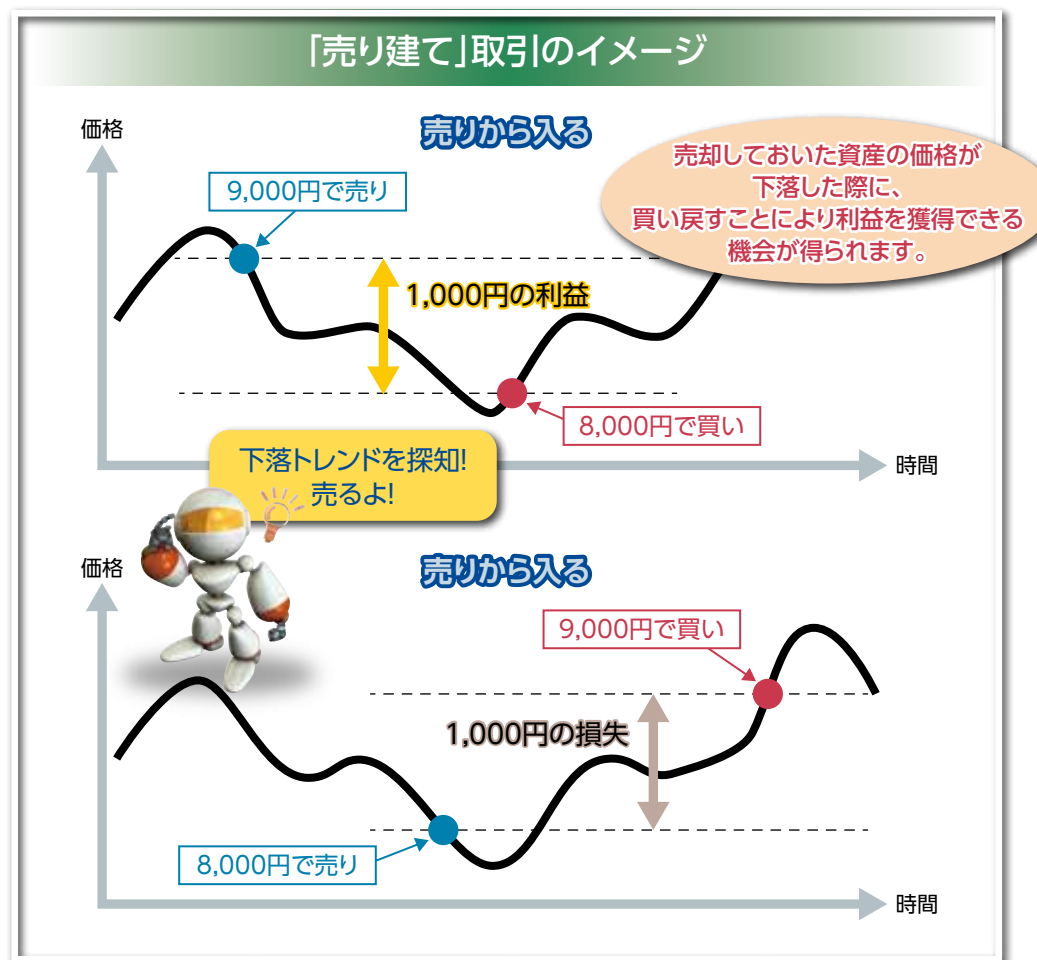
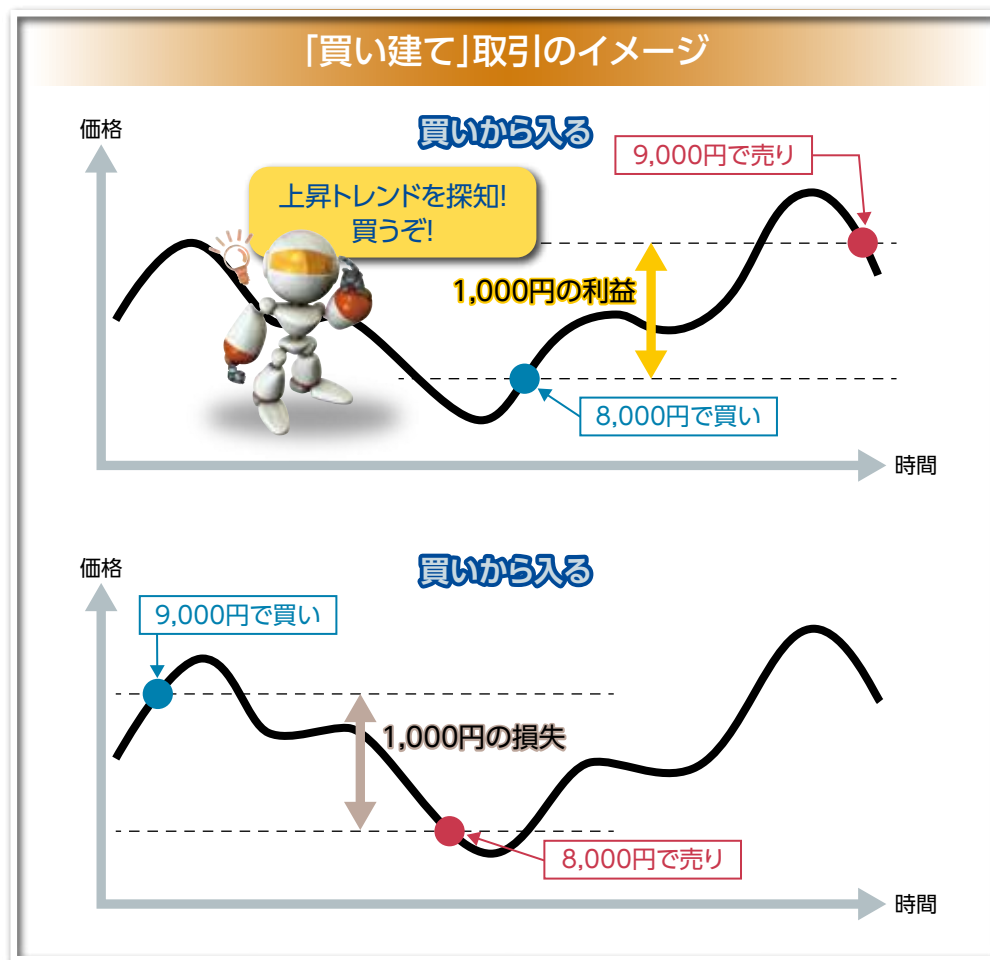
- 相場の反転時には損失が発生する可能性があります。
- 相場のトレンドが明確とならずもみ合って方向性に欠ける展開においては、売買が交錯し、損失が発生する可能性があります。

上図は利益、損失のイメージ図です。必ずしもその通りになるとは限りません。
トレンドが見られない場合は損失が発生する場合があります。またトレンドが見られる場合でも取引がうまくいかず損失となるケースもあります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

先物取引等の活用

- ファンドは、投資対象市場の**上昇相場**と**下落相場**の両方の局面で**収益の獲得**を目指します。
- ファンドは、投資対象市場の**先物取引**(あるいは**先渡取引**)を活用することで、コンピュータープログラムが「**上昇トレンド**」と判断した場合に「**買い建て**」、逆に「**下落トレンド**」と判断した場合に「**売り建て**」を行います。
- 投資対象市場が**方向感のない相場展開**(コンピュータープログラムが「**上昇トレンド**」でも「**下落トレンド**」でもないと判断する局面)となる場合は、**収益機会を得られない**ことがあります。



上記は先物市場での買い建て、売り建ての取引における利益、損失のイメージ図です。必ずしもその通りになるとは限りません。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

コンピューター運用の魅力 ①

「フィンテック」を用いた「次世代型超分散ポートフォリオ」の構築

- 高度なテクノロジーに裏付けされた戦略に基づき、世界中の市場を対象として次世代型超分散ポートフォリオを構築します。

AHLの “次世代型超分散ポートフォリオ”

- ① 世界中の市場に分散投資
- ② 100以上の投資対象市場
(株価指数、債券・金利、通貨に分散)
- ③ 流動性の高い市場に限定
(先物市場および先渡市場のみに投資)
- ④ 売り建てを行うことが可能
(市場の下落局面も収益機会として捉えることが可能)
- ⑤ 市場環境に応じ自動的にリバランス
(コンピュータープログラムが利益確定や損切りを実施)



僕は莫大なデータを同時に処理することができるんだ。人間が混乱してしまいがちな危機局面でも、冷静に事態に対処するよ!



“フィンテック” (Financial Technology) 高度なコンピュータープログラムによる運用

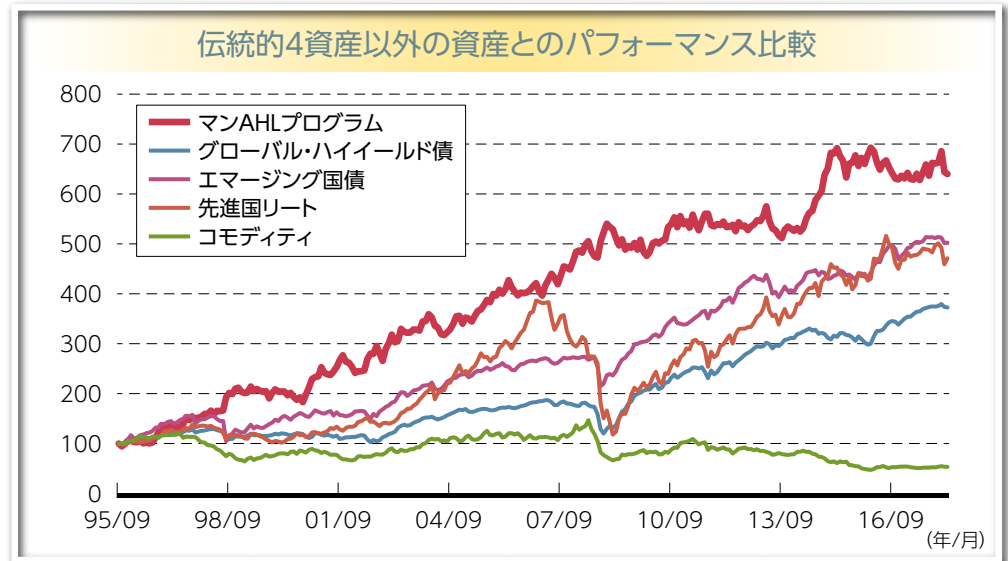
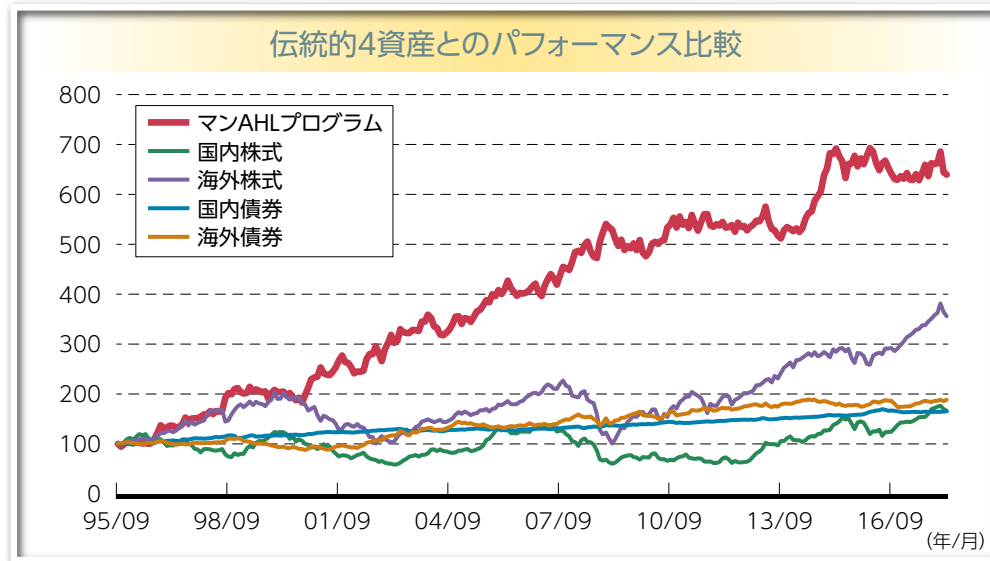
- ① 投資判断
(膨大なデータを処理し、ルールに基づきシステムチックに判断)
- ② 執行
(電子トレード・人工知能を搭載)
- ③ リスク管理
(コンピューターが24時間実施)

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

コンピューター運用の魅力②

大きな下落を回避(最大下落率を抑制)

- 過去の長期運用実績において、良好なパフォーマンスを残しています。
- コンピューターによるリスク管理が効果を発揮し、過去の運用において最大下落率※は相対的に低くなっています。



1995年9月末を100として指数化 期間:1995年9月末～2018年3月末(月次、外貨建資産は円ヘッジベース)

各資産の最大下落率※

マンAHLプログラム	国内株式	海外株式	国内債券	海外債券	グローバル・ハイイールド債	エマージング国債	先進国リート	コモディティ
-14.6%	-56.2%	-55.7%	-4.9%	-21.0%	-35.8%	-33.5%	-69.5%	-67.9%

期間:1995年10月～2018年3月(月次データに基づき算出、外貨建資産は円ヘッジベース)

※最大下落率とは、高値から安値までの下落率のうち、該当期間における最大のものをいいます。

上記のマンAHLプログラムは、AHLの旗艦コンピュータープログラムの過去の長期運用実績をご紹介するために、AHLアルファ・プログラム(費用控除後、以下AHLアルファ)の運用実績を示しています。ファンドが主要投資対象とする外国投資信託はAHLアルファと投資対象市場の一部が異なりますが(AHLアルファは商品市場やクレジットデリバティブなども投資対象に含みます)、外国投資信託が投資対象としている株価指数、債券・金利、通貨については同一の運用戦略を採用しています。上記はAHLアルファの過去の運用実績であり、将来のファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【当ページで使用了たデータについて】

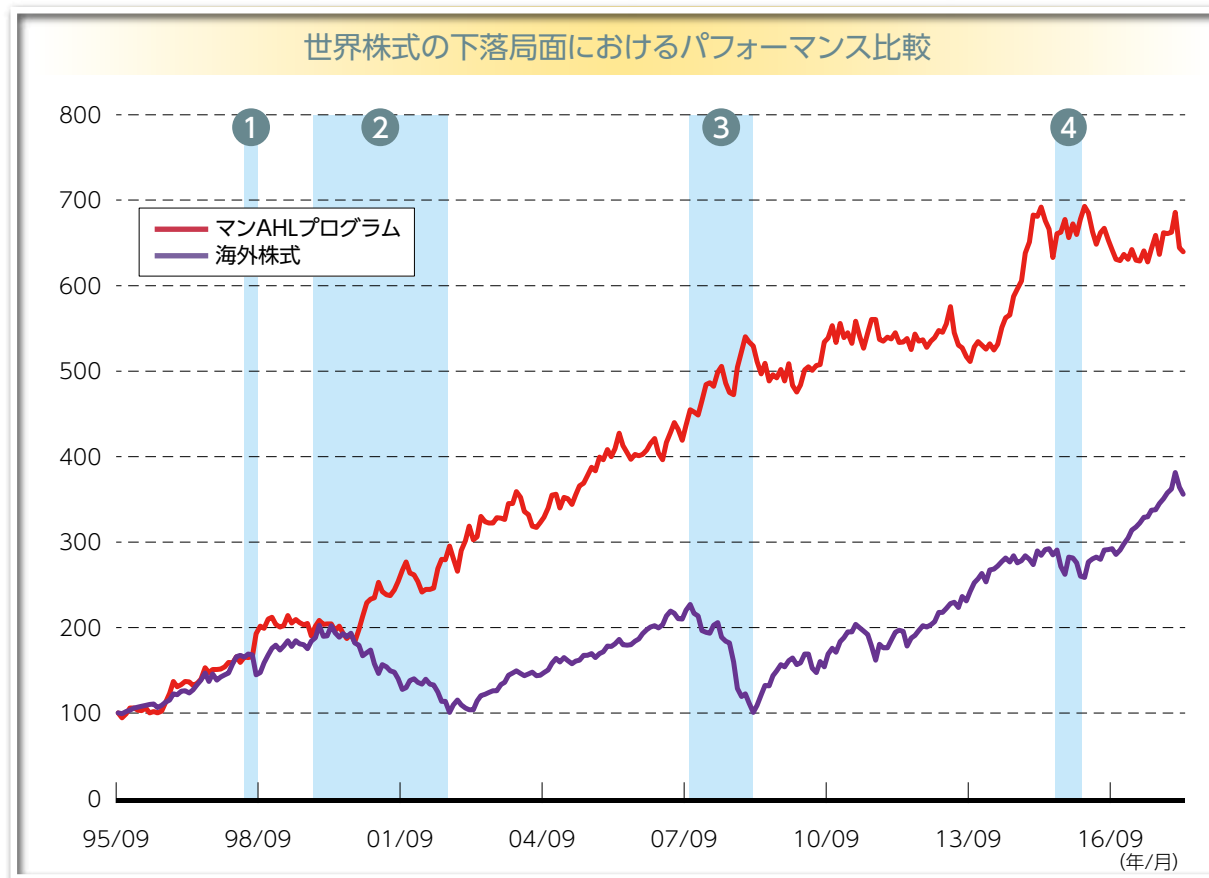
国内株式:TOPIX(東証株価指数)(配当込み)、海外株式:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、国内債券:NOMURA-BPI総合、海外債券:FTSE世界国債インデックス(除く日本)、グローバル・ハイイールド債:ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル・ハイイールド・インデックス、エマージング国債:JPモルガンEMBIグローバル・インデックス、先進国リート:S&P先進国REIT指数、コモディティ:ブルームバーグ・コモディティ・インデックス
出所:マン・グループ、ブルームバーグ、東京証券取引所、MSCI、野村證券株式会社、FTSE Fixed Income LLC、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックス、JPモルガン社、スタンダード・amp;・プアーズのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

コンピューター運用の魅力③

世界的な株式下落局面で効果を発揮

- 過去の世界株式市場における代表的な下落局面において、良好なパフォーマンスを獲得しています。



1995年9月末を100として指数化
期間:1995年9月末～2018年3月末(月次、外貨建資産は円ヘッジベース)

大きな下落局面※	マンAHLプログラム	海外株式
① 1998年 6月～1998年 8月 ロシア財政危機	16.8%	-14.3%
② 1999年12月～2002年 9月 ITバブル崩壊	41.8%	-50.5%
③ 2007年10月～2009年 2月 サブプライムショック、リーマンショック (世界金融危機)	16.4%	-55.7%
④ 2015年 5月～2016年 2月 米国利上げ観測、チャイナショック (米金融政策の転換、中国の成長鈍化懸念)	4.0%	-11.4%

※海外株式において当該期間の高値から安値までの下落率が10%以上の局面を大きな下落局面としています。

危機局面での僕の
成果を見てくれ!
下落リスクを低減するよう
市場環境に応じて
リバランスするよ!



上記のマンAHLプログラムは、AHLの旗艦コンピュータープログラムの過去の長期運用実績をご紹介するために、AHLアルファ・プログラム(費用控除後、以下AHLアルファ)の運用実績を示しています。ファンドが主要投資対象とする外国投資信託はAHLアルファと投資対象市場の一部が異なりますが(AHLアルファは商品市場やクレジットデリバティブなども投資対象に含みます)、外国投資信託が投資対象としている株価指数、債券・金利、通貨については同一の運用戦略を採用しています。上記はAHLアルファの過去の運用実績であり、将来のファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【当ページで使用了データについて】

海外株式:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)

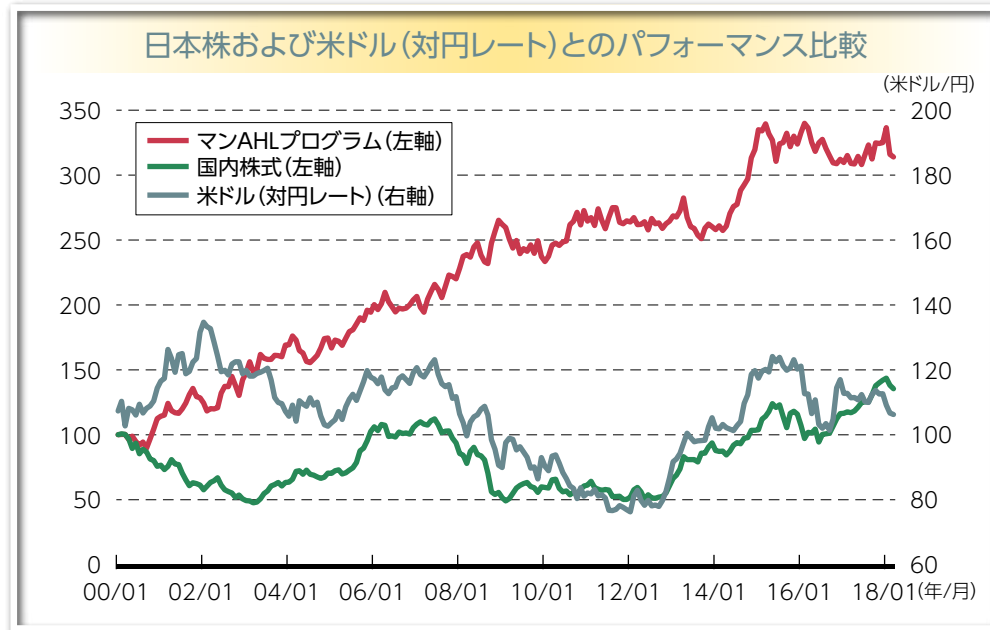
出所:マン・グループ、ブルームバーグ、MSCIのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

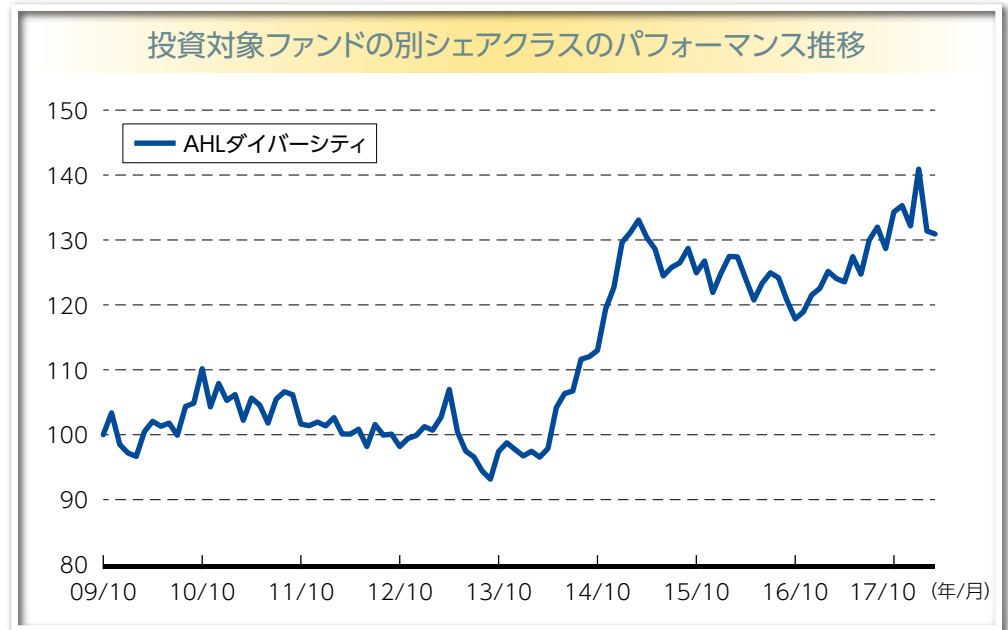
コンピューター運用の魅力④

円高・株安局面においても良好な成績

- 過去の運用実績において、日本株投資で損失が出やすい円高(米ドル安)と株安が同時に発生する局面で、米ドル(対円レート)と日本株の下落相場をうまく捉えて、収益を獲得する傾向が見られます。
- 一方で、為替や株価に方向感がでない局面や上下の変動を繰り返してトレンドがうまく認識できない局面等では、収益獲得の機会を得ることができない場合があります。



マンAHLプログラムと国内株式は2000年1月末を100として指数化
期間:2000年1月末～2018年3月末(月次、外貨建資産は円ヘッジベース)



AHLダイバーシティは設定日前月末を100として指数化
AHLダイバーシティ(ポンド建:2009年11月3日設定)の円ヘッジベースを使用
期間:2009年10月末～2018年3月末(月次)

上記のAHLダイバーシティはファンドが主要投資対象とする外国投資信託と同一ファンドの別シェアクラス(費用控除後)です。
AHLダイバーシティの長期運用実績をご紹介するために、当シェアクラスの運用実績を示しています。

上記のマンAHLプログラムは、AHLの旗艦コンピュータープログラムの過去の長期運用実績をご紹介するために、AHLアルファ・プログラム(費用控除後、以下AHLアルファ)の運用実績を示しています。ファンドが主要投資対象とする外国投資信託はAHLアルファと投資対象市場の一部が異なりますが(AHLアルファは商品市場やクレジットデリバティブなども投資対象に含みます)、外国投資信託が投資対象としている株価指数、債券・金利、通貨については同一の運用戦略を採用しています。上記はAHLアルファの過去の運用実績であり、将来のファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【当ページで使ったデータについて】

国内株式:TOPIX(東証株価指数)(配当込み)

出所:マン・グループ、ブルームバーグ、東京証券取引所のデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

コンピューター運用の魅力⑤

他資産との低い相関関係

- コンピューター運用の投資成果は他の伝統的な資産との相関が低いことが特徴です。相関が低い資産を組み合わせることで、分散投資効果が期待できます。

各資産の相関係数

	マンAHLプログラム	国内株式	海外株式	国内債券	海外債券	グローバル・ハイイールド債	エマージング国債	先進国リート	コモディティ
マンAHLプログラム	1.00								
国内株式	-0.05	1.00							
海外株式	-0.04	0.57	1.00						
国内債券	0.17	-0.24	-0.12	1.00					
海外債券	0.32	-0.03	0.22	0.20	1.00				
グローバル・ハイイールド債	-0.11	0.48	0.74	-0.03	0.30	1.00			
エマージング国債	-0.04	0.36	0.57	0.06	0.28	0.80	1.00		
先進国リート	0.03	0.35	0.66	0.06	0.39	0.67	0.50	1.00	
コモディティ	0.12	0.26	0.40	-0.02	0.33	0.43	0.32	0.34	1.00

期間:1995年10月～2018年3月(月次データに基づき算出、外貨建資産は円ヘッジベース)

【相関係数とは】

相関係数とは値動きの連動性を表す数値です。-1～+1の間で示され、+1に近づくほど連動性は高くなり、一方で-1に近づくほど逆の値動きをするという意味になります。

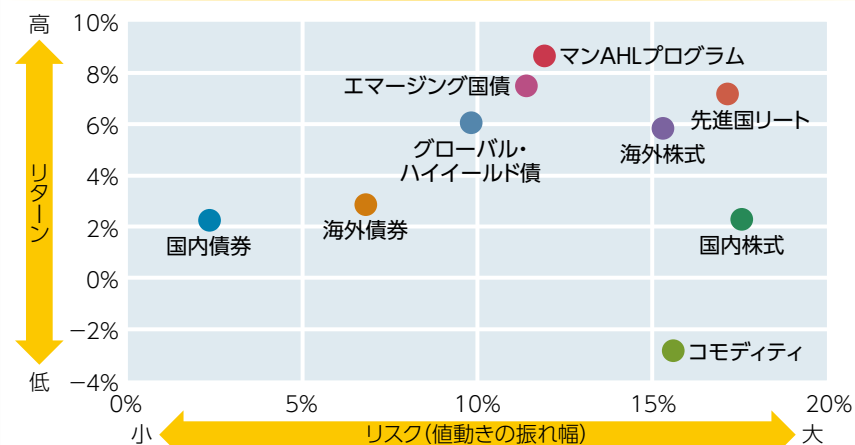
上記のマンAHLプログラムは、AHLの旗艦コンピュータープログラムの過去の長期運用実績をご紹介するために、AHLアルファ・プログラム(費用控除後、以下AHLアルファ)の運用実績を示しています。ファンドが主要投資対象とする外国投資信託はAHLアルファと投資対象市場の一部が異なりますが(AHLアルファは商品市場やクレジットデリバティブなども投資対象に含みます)、外国投資信託が投資対象としている株価指数、債券・金利、通貨については同一の運用戦略を採用しています。上記はAHLアルファの過去の運用実績であり、将来のファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【当ページで使用了たデータについて】

国内株式:TOPIX(東証株価指数)(配当込み)、海外株式:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、国内債券:NOMURA-BPI総合、海外債券:FTSE世界国債インデックス(除く日本)、グローバル・ハイイールド債:ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル・ハイイールド・インデックス、エマージング国債:JPモルガンEMBIグローバル・インデックス、先進国リート:S&P先進国REIT指数、コモディティ:ブルームバーグ・コモディティ・インデックス
出所:マン・グループ、ブルームバーグ、東京証券取引所、MSCI、野村證券株式会社、FTSE Fixed Income LLC、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックス、JPモルガン社、スタンダード・アンド・プアーズのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

リスク・リターン特性



期間:1995年10月～2018年3月(月次データに基づき算出、外貨建資産は円ヘッジベース)
リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算、リターンは累積リターンを年率換算

僕の超分散ポートフォリオを
加えることで
他の資産に対する
分散投資効果を発揮するよ!



投資対象市場について

- ファンドは世界中の株価指数、債券・金利、通貨を投資対象とし、100以上の市場に幅広く分散して投資します。
- 長期的な目標リスクを10%程度として運用します。

投資対象市場の例

株価指数

(先進国および新興国の
株価指数先物市場)

米国 ナスダック100
米国 S&P500
日本 日経225
日本 TOPIX
英国 FTSE100
ドイツ DAX
オーストラリア ASX SPI200
香港 ハンセン
インド Nifty
VIX(ボラティリティ・インデックス)
等、合計約35市場

債券・金利

(先進国および新興国の
債券・金利先物市場)

米国国債
日本国債
オーストラリア国債
英国国債
カナダ国債
ドイツ国債
フランス国債
イタリア国債
ユーロドル金利
等、合計約25市場

通貨

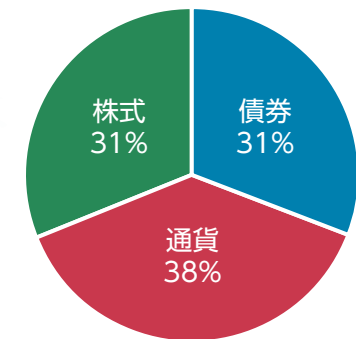
(先進国および新興国の
通貨先物・通貨先渡市場)

米ドル
ユーロ
日本円
英ポンド
オーストラリアドル
ブラジルレアル
メキシコペソ
中国元
インドルピー
ロシアルーブル
トルコリラ
等、合計約45市場

*債券・金利は長期・短期さまざまな年限に投資します。

上記はファンドの投資対象市場の例です。変更となる可能性もあります。また正式名称ではありません。

資産クラス別リスク配分比率 (長期目標)



*上記の比率はリスク総量に占める割合です。
相対的にリスク度合いの低い債券等は、
純資産総額に対する比率が高くなる場合があります。

※2017年12月末時点

世界のさまざまな市場を
同時に相手にすることが
できるんだ!



資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

ファンドの運用会社 コンピューター運用の開拓者 AHL

AHLは、1987年の創業以来、約30年、一貫してコンピューター運用の最先端を走っています。

AHL パートナース LLP (AHL) について



- コンピューター運用の開拓者として約30年の運用実績を有する
- 世界の手年金基金やソブリンウェルスファンド(政府系ファンド)を顧客に持ち、運用資産残高240億米ドル(約2.7兆円)を誇る世界有数のクオンツ運用マネジャー
- 堅固なリサーチ体制と最先端のトレーディング・テクノロジーを有する(120名を超える研究者集団(数学博士、物理学博士なども含む))
- 複数のバックアップ・サイトを保持し、頑健なシステムを構築
- 英国・オックスフォード大学と提携し、共同で研究所を設立

(2017年12月末現在)

AHLにおける研究・開発の方向性

最近のモデル開発事例 機械学習(マシン・ラーニング)

- コンピューターが機械学習により過去の膨大な価格変動パターンを基に、将来の姿を予測します。
- 最先端の研究開発を通じ、より良いパフォーマンスの達成を目指しています。

投資対象市場の拡大 幅広い市場に分散投資

- 450を超える幅広い市場の分析を行っています。
- 新たな市場の取り込みのために、様々な市場に関する調査・研究を行っています。

- オックスフォード・マン定量ファイナンス研究所(OMI)
2007年に英国・オックスフォード大学と提携し、共同で研究所を設立
世界最先端の金融技術の研究・開発を行っています。

AHLダイバーシティの受賞実績について

ヘッジファンドジャーナルUCITSアワード2017
トレンドフォロー/CTA部門 過去3年間の最高収益率



Trend-Following CTA
Best Performing Fund over a 3 Year Period
Man AHL Diversity
(Man AHL)

ヘッジファンドジャーナルUCITSアワード2016
CTA部門 過去2年間の最高収益率
(戦略資産1億ドル以上のファンドが対象)



CTAs > \$100 Million Strategy Assets
Best Performer over a 2 Year Period
Man AHL Diversity
(Man)

ヘッジファンドジャーナルUCITSアワード2015
CTA部門 2014年間最高収益率および過去5年間の最高収益率



*UCITS(ユーシッツ)とは、欧州委員会が制定した指令(以下、UCITS指令)に準拠するファンドを指します。UCITS指令は、個人投資家向けのファンドに関する規制の一つであり、投資家保護の観点から、運用手法、投資対象、リスク分散、リスク管理、流動性、透明性(情報開示)等において厳しい基準を設けており、UCITSはこのような厳しい基準を満たしていることから、流動性や透明性が担保されたファンドとしてみられています。

*CTAとは、主に独自に開発した運用プログラムを活用し、それに基づき幅広い資産に投資する運用戦略をいいます。

上記はファンド自体ではなくその主要投資対象である外国投資信託(マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ)の受賞実績です。受賞実績は情報提供を目的としたものであり、マン・グループやT&Dアセットマネジメント、またそれらが提供する商品やサービスを推奨するものではありません。審査基準等の詳細情報に関しては提供者のウェブサイトをご参照ください。過去のパフォーマンスは将来の運用成績を保証するものではありません。

ファンドの投資リスク

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

価格変動リスク	株式、債券、通貨・為替等を原資産とする先物取引等の価格は、投資対象となる原資産の価格の動きや取引されている市場での需給等の影響を受けて変動します。なお、世界各国の先物取引等のロング・ポジション、ショート・ポジションを構築することにより、収益の獲得を目指すため、投資市場の上昇が必ずしも収益の要因とはなりません。先物取引等の価格が予想した方向と反対方向に動いたことによる損失の発生は、基準価額が値下がりする要因となります。
金利変動リスク	金利変動リスクとは、金利の変動により資産の価値が変動する可能性のことをいいます。特に債券は金利の変動に大きな影響を受けます。一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。
信用リスク	有価証券の発行者、または金融商品の運用先に債務不履行等が発生または懸念される場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。
為替変動リスク	外貨建資産は通貨の価格変動によって評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。外貨建資産の評価額が下落した場合、基準価額が値下がりする要因となります。
流動性リスク	市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱、取引規制等のために、取引が行えない場合、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。また、ファンドに大量の資金変動が生じた場合等には機動的に有価証券を売買できない場合があり、これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制等が設けられた場合は、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が値下がりする要因となります。
デリバティブのリスク	ファンドの投資対象である外国投資信託は主として有価証券、金利関連のデリバティブに投資します。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、ファンドが損失を被るリスクを伴います。
レバレッジリスク	先物取引等によりレバレッジをかけた取引を行う場合には、先物取引等の価格が予想した方向と反対方向に動いた場合に、レバレッジがかかっていない場合に比べて損失が拡大し、基準価額が値下がりする要因となります。
システムリスク	コンピュータープログラムが機能しない等、システム運用に関して不慮の出来事が生じる可能性があり、基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

【分配金に関する留意点】

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

お申込みメモ、ファンドの費用

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
申込締切時間		原則として午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
信託期間		2021年8月23日まで(2016年9月30日設定)
決算日		2月、8月の各22日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配		年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。販売会社との契約によっては税引き後無手数料で再投資が可能です。
申込不可日		下記のいずれかに該当する日には、購入・換金の申込はできません。 ・ ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日 ・ ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日の前営業日 ・ 12月24日およびその前営業日 ・ 日本の祝日の前営業日および前々営業日

ファンドの費用

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理 費用 (信託報酬)	ファンド	毎日、ファンドの純資産総額に 年0.9936%(税抜0.92%) の率を乗じて得た額とします。
	投資対象とする外国投資信託	<基本報酬> ・ 運用報酬 投資対象である外国投資信託において、外国投資信託の純資産総額に対して、年1.0%の運用報酬がかかります。 ・ 管理報酬 マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブの純資産総額に対して、上限年0.2%程度の管理報酬がかかります。 <成功報酬> 外国投資信託の純資産総額(基本報酬控除後、成功報酬計上前)がハイ・ウォーター・マーク※を上回った場合、その超過部分に対して15%の成功報酬がかかります。 ※ハイ・ウォーター・マークは外国投資信託の当初設定元本または直近の決算日(最終営業日)において外国投資信託に成功報酬が発生した場合の成功報酬控除後の純資産総額となり、成功報酬計算期間を通じて毎日計算されます。計算期間内に外国投資信託に追加投資があった場合には当該追加投資金額分に応じて上昇し、解約があった場合には当該解約金額分に応じて減少します。
	実質的な負担	年2.1936%(税抜2.12%)程度+成功報酬 ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料		・ 信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。 ・ 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。 これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にてご入手いただけます。

照会先

T&Dアセットマネジメント株式会社

電話番号：03-6722-4810

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

インターネットホームページ：<http://www.tdasset.co.jp/>

当資料で使用するデータについて

当資料にて使用したデータは、特別な記載がない限り、トータルリターンを使用しています。

● MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

● NOMURA-BPI総合

NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス(除く日本)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● ブルームバーク・パークレイズ・グローバル・ハイイールド・インデックス

ブルームバーク(BLOOMBERG)は、ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。パークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーク」と総称します。)またはブルームバークのライセンサーは、ブルームバーク・パークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。

● JPモルガンEMBIグローバル・インデックス

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPモルガン社に帰属しております。JPモルガン社は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガン社は指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

- 当資料中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ファンドの関係法人

委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図等を行います。

受託会社：野村信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。

T&Dアセットマネジメント